

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」円座校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			新型コロナウイルスの感染予防も考え仕切りを設け個人のスペースが確保できるようにしている。空間の有効的な活用を今後も考えて行きます。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	1	1	週 6 回開所に向けて会社より指導員の増加予定です
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3		必要に応じて声掛けと工夫を行っている
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	2		職員同士の業務内容把握を図っていきます
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			保護者様にも意見を頂いて取り組んでいます
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			ワムネット、会社ホームページに公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	1	第三者機関は実施していませんが、他県の事業所の意見等を踏まえながら現在進めています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			内部研修・外部研修に参加できるものは参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			主観的になりすぎないように職員間、保護者様との連携を密に行っている。事業所内だけでなく外部との連携も図って客観的に見立てられるように今後も努めます
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			会社内で統一されたシートを使用しています。職員間でアセスメントをより強化します
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			日々ミーティングを重ね、支援プログラムを考えている。他事業所、他機関連携も密に行い孤立したプログラムとならないように担当者会議等を有効活用する
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			固定化されている物でも保護者様に意図とねらいを説明し、理解してもらえるよう努めています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		本人の必要に応じて支援を行っている。より細やかに提示できるよう努める。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			基本的には個別支援にはなるが必要であれば小集団も行っている。職員も小集団で友好的な支援ができるよう学びと工夫を深めている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			朝礼・終礼・ミーティングを活用しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			その日のうちに共有しなければならない事柄は支援終了後に共有をしている。担当職員のみならずそれぞれが新しいアイデアや反省点の共有をしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		4		溜め込み過ぎず確実に作成していく。保護者様にもしっかり確認して頂く。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			保護者様との情報共有を行い、より良いものになるよう取り組む。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		3	1	初任者研修にて知識を深めている。研修で学んだことを常に活かせるように支援を行う。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2		どの職員が参加しても良いように情報共有をしっかりと行っていく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		2	2	連携や月間予定を基に把握している。送迎等が無い為教員の方との関わりは少ないが必要に応じて行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	2	保護者様を通して小児科、発達クリニックなどの見解を聞かせて頂いている。今後も必要に応じて受け入れ前にしっかりと相談調整を進めていきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			情報提供書、関連機関連携等を通して相互理解に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2		現在は利用がないが、その際はしっかり情報提供させていただきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		2	2	外部連携の地域への理解を深め強化していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	希望に応じて検討していきたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		3	1	研修や情報共有として少し関わりがある状態。地域とのつながりの機会を増やし研修等にも積極的に参加していく。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	2		支援後に振り返りを行っている。細かい内容等をお伝えできていない可能性もある為、今後支援時以外でも気軽に電話や訪問して頂ける環境を整えていきます。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1		発達について前向きな取り組みができるように保護者様にも声掛けを行ってまいります。プログラム形式ではないので職員全員が同じ対応ができるように努めてまいります。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	1	1	契約時に行わせてもらっている。疑問や質問が出た際には迅速な対応ができるよう全員が把握する。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1		相談しやすい環境調整を行い、相談後の本人の様子もしっかりと共有できるよう努めてまいります。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3		コロナ禍もありあまり開催できていない。当事者としての繋がりが持ちやすくなるようオンラインなども活用していく。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			利用者様全員の意見を真剣に受け止め、特性や社会参加を見据えて対応できるよう改良に努めている。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		4		イベント開催や研修などの会報は行っている。定期的に行えるように工夫する。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	3	1		各自の情報やパソコンは鍵付きの書庫に保管している。今後も個人情報の取り扱いには厳重に注意し職員間での共通認識を図る。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	2		本人の状態や特性に応じた視覚的情報や、聴覚的情報をわかりやすく提示できるように努めています。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	3	コロナ禍であり中々機会がなかったが積極的に地域とも繋がっていききたい。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2		教室内掲示を行っている。皆様にご理解頂く為に周知を深める。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			訓練の種類によって対応策を改めて練る。また利用者様を含めた訓練を行っていく。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			会社主体の身体拘束防止研修に加え、地域の研修にも参加している。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			会社主体の身体拘束防止研修に加え、地域の研修にも参加している。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	2	1	事業所内での食事の提供は行っておりませんが、おかし等の物に対しても必ずアレルギーの確認を行っている。把握しきれていない情報については改めて把握していく。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1		ヒヤリハットや事故報告書を作成し他校舎とも共有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」円座校

保護者等数（児童数）：35(36) 回収数：26 割合：74.2%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	3		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	3		「どの先生がどの専門性をもっているか不明」とのことでしたので、校舎に貼ってある職員プロフィールをお見せしながら案内もしていく。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	10	2	出入口の段差をなくす等の対応策を校舎で検討して進めていく。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	25	1		
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	22	4		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	11	8	「なくても支障はない」とありましたが、機会があれば行きたい。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	9	8	「中学生だし会う機会がない」とありましたが、今後のイベントの「おやかカフェ」などの案内を行っていく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	6		「苦情はない」とのことでしたが、細かな要望がありそうなので吸い上げていきたい。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	5		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	9	2	ホームページなどの掲載先をご案内し、もっと中身の見える対応を行っていく。

	⑭	個人情報に十分注意しているか	22	3		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	7		緊急時の対策について再度共有を行いながら、定期実施の避難訓練への参加を促していきたい。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	12	2	緊急時の対策について再度共有を行いながら、定期実施の避難訓練への参加を促していきたい。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	23	1		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	21	2		

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。